

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	長居公園ほか2施設
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	長居公園・長居運動場・長居植物園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整など）
成果指標	長居植物園の来園者数、長居運動場の利用件数、長居公園及び長居植物園、長居運動場の満足度調査結果
数値目標	長居植物園の来園者数 740,000人以上 長居運動場の利用件数 900件以上 長居公園の満足度調査結果 85%以上 長居植物園の満足度調査結果 85%以上 長居運動場の満足度調査結果 85%以上
指定管理者名	長居わくわくプロジェクトチーム 【構成員】 わくわくパーククリエイティブ(株) ヤンマーコーポレーション(株) (一財)大阪スポーツみどり財団 ヤンマーホールディングス(株) タイムズ24(株) (公財)大阪ユースホステル協会
指定期間	令和3年4月1日～令和23年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	来園者数 (長居植物園)	利用件数 (長居運動場)	利用者満足度 (長居公園)	利用者満足度 (長居植物園)	利用者満足度 (長居運動場)
数値目標	740,000人以上	900件以上	85%以上	85%以上	85%以上
年度実績	731,561人	1,113件	97.5%	99.7%	78.2%
達成率	98.9%	123.7%	114.7%	117.3%	92.0%

利用状況

施設	当年度	前年度	前年度比(差)
長居植物園			
利用人数	731,561人	838,888人	87.2%(-107,327人)
稼働率	-	-	-
長居運動場			
利用件数	1,113件	1,114件	99.9%(-1件)
稼働率	-	-	-

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因	
業務代行料	実績	424,403,632	418,546,518	5,233,854	業務代行料と相殺する公園使用料相当額が減少したため	
	計画	419,169,778	423,176,780			
利用料金収入	実績	54,010,152	46,957,773	▲6,743,848	計画値は新型コロナウイルス感染症の影響で方向性が不透明だった際に算出したため、実態と差が生じている	
	計画	60,754,000	52,624,000			
その他収入 (自主事業収入等)	実績	294,724,949	187,804,871	77,420,536	ハロウィンイベント等の開催により一般園地の収入が増加したため	
	計画	217,304,413	169,063,592			
その他 収入	自主事業収入	実績	144,762,026	88,599,313	97,210,031	ハロウィンイベント等の開催により一般園地の収入が増加したため
		計画	47,551,995	31,736,564		
	魅力向上事業収入	実績	149,962,923	99,205,558	▲19,789,495	
		計画	169,752,418	137,327,028		
合計	実績	773,138,733	653,309,162	75,910,542		
	計画	697,228,191	644,864,372			

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因	
人件費	実績	167,402,927	122,198,381	78,629,927	労務単価及び最低賃金の上昇によって増加したため	
	計画	88,773,000	88,773,000			
物件費	実績	524,362,765	475,222,876	16,343,106	委託料の上昇に伴う管理費の増加や、原材料価格、エネルギーコストなどの上昇に伴い光熱費が増加したため	
	計画	508,019,659	471,594,597			
その他事業費 (自主事業支出等)	実績	170,681,908	112,158,140	22,381,879	原材料価格の高騰によりイベント経費等が増加したため	
	計画	148,300,029	123,778,981			
その他 事業 費	自主事業支出	実績	23,381,826	7,599,272	19,681,826	原材料価格の高騰によりイベント経費等が増加したため
		計画	3,700,000	3,700,000		
	魅力向上事業支出	実績	147,300,082	104,558,868	2,700,053	
		計画	144,600,029	120,078,981		
合計	実績	862,447,600	709,579,397	117,354,912		
	計画	745,092,688	684,146,578			

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数(長居植物園)	98.9%	B	
利用件数(長居運動場)	123.7%	S	昨年度の課題であった水はけを改善した結果、利用件数が多かった
利用者満足度(長居公園)	114.7%	A	公園の美装化やイベント等に努めた結果、満足度が高かった
利用者満足度(長居植物園)	117.3%	A	年間を通した50周年記念事業の開催等により満足度が高かった
利用者満足度(長居運動場)	92.0%	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p>昨年度に引き続き、場内照明のLED化に取り組むなどの節電対策、トイレ、公園水道栓に関する節約の徹底など経費の節減に努めていた。</p> <p>昨年度に引き続き、落ち葉の堆肥化や剪定枝のチップ化によるマルチング利用等の工夫を行い、管理経費削減に努める他、今年度はポスターチラシ等デザインの直営化、デジタル化を進めることによる書類の印刷枚数削減等を行った。</p>	B	利益配分金なし

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの再興プロジェクトとして、クラウドファンディングを活用し、北西入口に新たにサクラを植樹して整備を行っていた。 ・注意件数が多かった公園内でのスケートボード走行について、スケートボードパークを新設してから注意件数が減少しており、今年度は昨年度と同程度の月平均約10件となっている。 ・長居植物園の大池にて引き続き水質浄化を実施していた。また、トイレ清掃専従チームを設けて1日2回の清掃を実施するなど、公園全体の美化を推進していた。
事業計画の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・開園50周年を迎えた長居植物園で年間を通じて記念事業を行い、賑わいを創出していた。 ・昨年度に植物園北東に設置した電子チケットで入場できる無人ゲートにおいて、代理申請や紙による代替発行等のサービスを行った。 ・長居パークプラットフォームの分科会である自然みどり部会の長居里山プロジェクトとして、クラウドファンディングを活用し、自然と人がつながる共生のシンボルとなるグラウンディングツリーを設置した。 ・公園PRのための情報発信の強化を昨年度から引き続き行い、SNSのフォロワー数やHPアクセス数が昨年度から増加した。 ・各施設において、数千人から中には十数万人の参加があったイベント（ピーフェス、ネモフィラフェアなど）を開催しており、公園全体の活性化に寄与していた。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、より良い長居公園を構築することを目的とした「長居パークプラットフォーム運営委員会」を年4回開催し、地元町内会・教育機関・地元大手企業等を交えて意見交換を継続して行っていた。 ・長居植物園では、ボランティアと協力して園芸・運営サポート等を実施し、延べ3,146人の参加があった。 ・地域連合町会との月1回の公園周辺の清掃や、年4回花の植付け等の花壇管理を福祉協議会や福祉事業所と連携して実施していた。 ・近鉄針中野駅「地域活用スペース」においてデジタルサイネージ運用、プランター設置、花卉配布、各開花フェアのPRを実施し、植物園来園への動機づけとなるようにしていた。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月より植物園のバックヤードにバイオコンポスターを導入し、レストランやカフェで出た食品残渣や競技場で刈った芝生、園内の落ち葉を微生物の力で堆肥に変換し、植物園内の花壇等での活用やイベント時の配布を行っていた。 ・令和6年3月より、Osaka Metroと共同による取組みとして、地下鉄長居駅地下からの湧水をプラントで浄化し、その水を植物園内池の水質向上に用いるほか、公園内トイレの排水、中央広場の芝生等の灌水に有効活用していた。 ・年間110回の講習会の開催や、年間4,242件の緑化相談の実施を通して花と緑の普及啓発に努めていた。
-----------------	---	---

4-2 魅力向上事業の達成状況

里山ひろばに、自然と人が繋がる共生のシンボルとして「グラウンディングツリー」を設置し、令和6年11月より運用を開始した。自然エネルギーを活用する植物のメカニズムなどを学ぶ施設として、ボランティアを中心としたガイドツアーを定期的に開催していた。

また、令和4年7月から開始した新施設は今年度も引き続き多くの利用者が見られた。Osaka Metro長居駅側のエントランスでは「桜珈琲」ほか3施設の飲食店、アクティビティとしては有料の大型アスレチック施設「ボウケンノモリNAGAI」、フットサル場「CEREZO FUTSAL PARK NAGAI」、長居植物園の夜間常設展示の「チームラボポタニカルガーデン大阪」と多くの新施設で賑わいの創出・利用促進を実施していた。なかでも「チームラボポタニカル大阪」では、一筆で描かれる空書の展示から人間や動物が歩き続ける展示へと変更し、令和6年度の入場者数は約320,000人であった。

魅力向上事業として新たに整備したスケートボード広場が令和4年4月にオープンし、今年度も引き続き多くの利用があった。同広場では利用者とともに一度清掃活動を実施し美観維持に努めるとともに、週に一度運営会議を実施しマナー向上にも努めている。

子ども連れの家族を対象とした農業体験教室「長居わくわくファーム」も引き続き開催し、参加者は56家族192名と昨年度（36家族114名）より大幅に増加した。農業体験を通して参加者に野菜・植物についての知識が身に着くような取り組みや、収穫した野菜で調理体験を行う食育も実施していた。

5 利用者ニーズ・満足度等

一般園地では、8月24日（土）と10月20日（日）にアンケート調査を実施し、480枚の回答を得た。アンケート結果では満足が61.0%、やや満足が36.5%と合わせると97.5%で目標値85%を大きく上回った。また、項目ごとの満足度は「樹木等の管理状況」は97.5%、「園路・広場の管理状況」は97.1%、「遊具」は92.7%、「トイレ」は68.5%、「案内看板等」は92.7%であった。改善点としては「休憩できる施設・場所が少ない」との要望が多かったため、花と緑と自然の情報センターを主とした施設の利活用の検討を進める。

長居植物園では、11月2日（土）から11月24日（日）にかけてアンケート調査を実施し、345枚の回答を得た。アンケート結果では大変満足が53.0%、満足が40.0%、やや満足が6.7%と合わせると99.7%で目標値85%を大きく上回った。改善点としては、「トイレが汚い」「洋式にしてほしい」といったトイレに関する意見が大半を占めていたため、美装化・洋式化に向けて計画を始めた。

長居運動場では、6月20日（木）から11月20日（水）にかけてアンケート調査を実施し、23枚の回答を得た。アンケート結果では、満足が78.2%で目標値85%を下回る結果となった。改善点としては、「掃除道具がない」、「スコアボードを交換してほしい」という意見があったため、検討を進める。

6 外部専門家意見

・魅力向上事業としてハード整備を行った施設を活かし、利用者や周辺地域と連携していることが高く評価できることから、最終評価における加点が認められる。

・特に、令和4年度にオープンしたスケートボード広場では、引き続き利用者とのコミュニティを形成してマナー向上に努めながら運営されており、高く評価できる。

・クラウドファンディングを活用して園内を充実させているのは良い取り組みである。

・トイレに関する意見が目立つが、清掃に対してではなく洋式化が進んでいないなど施設そのものに関する意見が大半であり、難しい部分はあると思うが改修を検討していくべきではないか。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目で成果指標に係る数値目標を上回っている、あるいは数値目標に近い実績であることから評価できる。 ・長居運動場については利用件数が数値目標を大幅に上回っていることから非常に評価できる。
市費の縮減	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本市への利益配分までは至らなかったが、環境に配慮した経費削減の取り組みを進めており、一定評価できる。
管理運営の履行状況	B+	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理運営状況であり、評価できる。 ・クラウドファンディングを活用して北西入口の整備やグラウンディングツリーの設置を行い、施設のさらなる充実に寄与しており評価できる。 ・周辺住民や利用者と連携して清掃や利用マナー向上に取り組んでいることから高く評価できる。 ・各施設において集客力の高いイベントを開催しており、園内の賑わいの創出を図っていることから高く評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。